

第100回日本感染症学会総会・学術講演会
第74回日本化学療法学会総会
合同学会演題

会長講演

会長講演 1 5月23日(土) 8:30~9:10 第1会場(4F ホールC)

司会：松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

「100年の重みと決意」

第100回日本感染症学会総会・学術講演会会長 大毛宏喜

会長講演 2 5月23日(土) 9:20~10:00 第1会場(4F ホールC)

司会：高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

「最適治療法の確立を目指して—感染症診療における test to treat の現状と展望—」

第74回日本化学療法学会総会会長 柳原克紀

招請講演

招請講演 1 5月23日(土) 14:00~14:45 第4会場(5F ホールB5-1)

司会：齋藤昭彦(新潟大学大学院医歯保健学研究科)

「Private Practice Model of Infectious Diseases」

President - IDSA, Medical Director and Former President - ID Care Ronald G Nahass

招請講演 2 5月23日(土) 14:45~15:30 第4会場(5F ホールB5-1)

司会：宮崎義継(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)

「The Path to Host-Directed Therapy in Tuberculosis」

City St. George's, University of London, London, UK, ESCMID Jon S Friedland

招請講演 3 5月23日(土) 15:40~16:25 第4会場(5F ホールB5-1)

司会：河野 茂(北松中央病院/長崎百合野病院)

「抗感染症創薬—自然からの贈り物「天然化合物」—」

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 北 潔

招請講演 4 5月23日(土) 16:25~17:10 第4会場(5F ホールB5-1)

司会：四柳 宏(国立健康危機管理研究機構)

「内閣感染症危機管理統括庁～新たな感染症パンデミックへの備え～」 内閣感染症危機管理統括庁 眞鍋 馨

招請講演 5 5月23日(土) 17:15~18:00 第4会場(5F ホールB5-1)

司会：柳原克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野)

「How to prepare for the next pandemic via research: PREPARE, the Singapore model」

Communicable Diseases Agency, Singapore,
National Centre for Infectious Diseases, Tan Tock Seng Hospital,
Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore,
Lee Kong Chian School of Medicine, Nanyang Technological University David Chien LYE

特別講演

特別講演 1 5月23日(土) 10:10~10:50 第1会場(4F ホールC)

司会: 大毛宏喜(広島大学感染症科)

「変形性膝関節症を自己細胞を用いて治す」

広島大学 越智光夫

特別講演 2 5月23日(土) 11:00~11:40 第1会場(4F ホールC)

司会: 柳原克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野)

「長崎という“縮図”から考えるプラネタリーヘルス」

長崎大学 永安 武

教育講演

教育講演 1 5月22日(金) 9:00~9:30 第8会場(4F G409)

司会: 多屋馨子(神奈川県衛生研究所)

「小児予防接種をめぐる制度の進展と実装上の課題~これからの5年を見据えて~」 浜松医科大学 宮入 烈

教育講演 2 5月22日(金) 9:35~10:05 第8会場(4F G409)

司会: 朝野和典(大阪健康安全基盤研究所)

「感染症対策の動向」

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部 鷺見 学

教育講演 3 5月22日(金) 15:00~15:30 第8会場(4F G409)

司会: 水野哲志(金沢大学医薬保健研究域医学系国際感染症制御学)

「生物多様性から再考する共生寄生虫の意義」 金沢大学医薬保健研究域医学系国際感染症制御学 所 正治

教育講演 4 5月22日(金) 15:35~16:05 第8会場(4F G409)

司会: 長沢光章(国際医療福祉大学大学院)

「CLSI AST 会議の最新トピックス」

東京医科大学微生物学分野 大楠清文

教育講演 5 5月22日(金) 16:10~16:40 第8会場(4F G409)

司会: 山本善裕(富山大学附属病院感染症科)

「プリオン病研究の進捗と未解決課題」

長崎大学 西田教行

教育講演 6 5月22日(金) 16:45~17:15 第8会場(4F G409)

司会: 國島広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

「その時、医師らはどう動いたか!? 現場を見続けた“コロナ禍の3年半”」 東北医科薬科大学 小嶋修一

教育講演 7 5月22日(金) 17:20~17:50 第8会場(4F G409)

司会: 石田 直(公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)

「混合感染の隠れた病態増悪のメカニズム」

長崎みなとメディカルセンター 迎 寛

教育講演 8 5月23日(土) 10:50~11:20 第8会場(4F G409)

司会: 矢野寿一(奈良県立医科大学微生物感染症学講座)

「保菌から感染の過程で何が起きているか?」

和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 河野正充

教育講演 9 5月23日(土) 14:00~14:30 第8会場(4F G409)

司会：中野貴司(川崎医科大学小児科学)

「ウイルス性肺炎の重症化病態・治療・予防」

埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科 関 雅文

教育講演 10 5月23日(土) 14:35~15:05 第8会場(4F G409)

司会：三原由佳(名鉄病院予防接種センター)

「百日咳の現状と課題」

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所細菌第二部 大塚菜緒

教育講演 11 5月23日(土) 15:10~15:40 第8会場(4F G409)

司会：細川直登(亀田総合病院感染症内科)

「2026年版 骨関節感染症の診断と治療」

MD アンダーソンがんセンター感染症科 松尾貴公

教育講演 12 5月23日(土) 15:45~16:15 第8会場(4F G409)

司会：神谷 元(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学・実地疫学分野)

「予防接種法制度の変遷とこれから」

川崎市健康安全研究所 岡部信彦

教育講演 13 5月23日(土) 16:20~16:50 第8会場(4F G409)

司会：中南秀将(東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室)

「βラクタマーゼ進化の40年：観察されてきた“選択の原理”」

広島大学 IDEC 国際連携機構 石井良和

教育講演 14 5月24日(日) 9:10~9:40 第8会場(4F G409)

司会：柳原克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野)

「心療内科と感染症」

東邦大学医学部心身医学講座 端詰勝敬

教育講演 15 5月24日(日) 9:45~10:15 第8会場(4F G409)

司会：青木洋介(医療法人至誠会なゆたの森病院)

「Acute respiratory viral infections and the role of antivirals」

Shionogi & Co., Ltd. Aeron C. Hurt

教育講演 16 5月24日(日) 10:20~10:50 第8会場(4F G409)

司会：潟永博之(国立国際医療センター)

「HTLV-1 感染症—母子感染と水平感染—」

長崎大学医学部産婦人科 三浦清徳

教育講演 17 5月24日(日) 10:55~11:25 第8会場(4F G409)

司会：唐木田一成(東海大学医学部附属八王子病院歯科口腔外科)

「口腔の細菌・ウイルスと全身疾患との関わり」

日本大学歯学部感染症免疫学 今井健一

日本感染症学会 100 周年記念企画

講演 1 5月24日(日) 9:10~9:30 第7会場(5F ホールD5)

司会：大毛宏喜(広島大学感染症科)

「100歳老人医の伝言」

橋本 博

講演 2 5月24日(日) 9:35~9:55 第7会場(5F ホールD5)

司会：四柳 宏(国立健康危機管理研究機構)

「感染症との戦いは続く」

東京医療保健大学 木村 哲

講演 3 5月24日(日) 10:00~10:20 第7会場(5F ホールD5)

司会：金光敬二(福島県立医科大学)

「感染症に強い社会をめざして—未来へと続く日本感染症学会の役割—」

聖マリアンナ医科大学感染症学講座 賀来満夫

講演 4 5月24日(日) 10:25~10:45 第7会場(5F ホールD5)

司会：藤村 茂(東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室)

「2009年の新型インフルエンザにおける日本感染症学会提言が果たしたもの」

公益財団法人宮城県結核予防会 渡辺 彰

講演 5 5月24日(日) 10:50~11:10 第7会場(5F ホールD5)

司会：吉田正樹(新橋南桜パーククリニック)

「100年には届かないけれど半世紀にわたる感染症学会への関わり

—風疹から始まり、伝染性紅斑, SARS, 新興再興感染症, そしてパンデミック—」

川崎市健康安全研究所 岡部信彦

講演 6 5月24日(日) 11:15~11:35 第7会場(5F ホールD5)

司会：前崎繁文(黒沢病院附属ヘルスパーククリニック)

「日本感染症学会との歩みと第77回総会について」

佐世保国際通り病院 齊藤 厚

入門講座

入門講座 1 5月23日(土) 8:30~9:00 第8会場(4F G409)

司会：田代将人(横浜市立大学大学院医学研究科感染症内科学)

「カルバペネム耐性菌感染症の検査と治療」 兵庫県立はりま姫路総合医療センター感染症内科 西村 翔

入門講座 2 5月23日(土) 9:05~9:35 第8会場(4F G409)

司会：仲村 究(岩手医科大学医学部臨床検査医学・感染症学講座)

「ウイルス性呼吸器感染症に対する宿主細菌叢の役割」

愛知医科大学分子疫学・疾病制御学寄附講座 萩原真生

入門講座 3 5月23日(土) 9:40~10:10 第8会場(4F G409)

司会：黒沼幸治(札幌医科大学医学部感染症学講座感染症学分野)

「インフルエンザ肺炎の重症化機序」 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学 小佐井康介

入門講座 4 5月23日(土) 10:15~10:45 第8会場(4F G409)

司会：平松和史(大分大学医学部医療安全管理医学講座)

「B群レンサ球菌感染症サーベイランス」

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 保阪由美子

特別企画

5月23日(土) 15:40~17:10 第6会場(7F ホールD7)

司会: 田頭保彰(東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野)
佐田竜一(大阪大学大学院医学系研究科変革のヒト検体解析学(日本財団)
寄附講座)

『東西対抗感染症臨床クイズ大会』

東日本リーグ

オダチル [東京都立多摩総合医療センター]

No Stain, No Life [武蔵野赤十字病院]

JJHS AC/DC [国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター]

千葉大感染症内科 [千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科]

UTI(東京大学感染症内科) [東京大学医学部附属病院・感染症内科]

にこにこ MRSA [東京医科大学病院感染制御部・感染症科]

Team NATTO - Never Allow The Transmission of Organisms [筑波大学附属病院感染症内科チーム]

KID (Kameda Infectious Diseases) [亀田総合病院感染症内科]

西日本リーグ

感染症内科 SAGASO [飯塚病院感染症科]

臨床研修部 High gear つ子 [岡山大学病院感染症内科]

名古屋市立大学 [名古屋市立大学大学院医学研究科感染症学分野]

チーム K [奈良県立医科大学感染症内科学講座]

Mikan Penicillium [愛媛県立中央病院感染症内科]

チーム阪大でよい [大阪大学感染症内科]

琵琶湖の水とめたるか [京都大学感染症内科]

ジョイントシンポジウム

ジョイントシンポジウム 1 5月22日(金) 16:00~18:00 第4会場(5F ホールB5-1)

(日本結核・非結核性抗酸菌症学会)

「非結核性抗酸菌症の臨床課題と実態把握に基づく診療改善を目指して」

司会: 門田淳一(長崎みなとメディカルセンター)

磯部 威(島根大学医学部)

- 日本結核・非結核性抗酸菌症学会は、肺非結核性抗酸菌症にどう立ち向かうか
国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科 佐々木結花
- NTMの疫学調査から学んだこと—これまでの成果と今後の課題—
慶應義塾大学医学部感染症学教室 南宮 湖
- 気管支喘息・アレルギー性疾患と肺非結核性抗酸菌症—生物学的使用も含めて—
国立国際医療センター 放生雅章
- 国内における肺NTM症の疫学と今後の課題
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科分野(第二内科) 武田和明
- 本邦における非結核性抗酸菌症の現状と全国的サーベイランス体制確立への展望
厚生労働省感染症対策部感染症対策課 久保亮太郎

ジョイントシンポジウム 2 5月23日(土) 10:10~11:40 第3会場(7F ホールB7-2)

(日本環境感染学会)

「多剤耐性菌感染制御のこれまでとこれから」

司会：八木哲也(名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学)

菅原えりさ(一般社団法人感染防止教育センター)

特別発言：藤田直久(元京都府保健環境研究所)

1. 分子疫学的手法を用いた医療環境における多剤耐性菌対策

秋田大学医学部附属病院感染制御部,

秋田大学医学系研究科附属感染制御総合センター感染統括制御部門 嵯峨知生

2. 抗微生物薬適正使用の歩みと多剤耐性菌対策における薬剤師の役割

高知大学医学部附属病院薬剤部 浜田幸宏

3. 臨床感染症学の立場からみた多剤耐性菌対策

愛媛大学大学院感染制御学 田内久道

4. 看護実践における多剤耐性菌感染制御の役割

山陽学園大学看護学部 渡邊都貴子

ジョイントシンポジウム 3 (JaSA ジョイントシンポジウム)

5月23日(土) 15:40~17:40 第2会場(7F ホールB7-1)

(日本集中治療医学会・日本救急医学会・日本感染症学会)

「パンデミック・災害時における救急医療と感染症対策」

司会：早川佳代子(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター)

井上茂亮(和歌山県立医科大学救急・集中治療医学講座)

1. 地域基幹病院におけるパンデミック対応の戦略と課題

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 井上茂亮

2. 災害時の資源管理と情報管理

日本医科大学多摩永山病院 久野将宗

3. 災害時の感染症対策～避難所を医療支援する立場から

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救急科 稲田眞治

4. 災害・パンデミック時代の破傷風予防-感染症診療の視点から

京都大学大学院医学研究科 狩野謙一

ジョイントシンポジウム 4 5月24日(日) 9:10~10:40 第2会場(7F ホールB7-1)

(日本プライマリ・ケア連合学会)

「在宅医療における感染症診療」

司会：山口征啓(コネクト合同会社)

中山久仁子(医療法人メファ仁愛会マイファミリークリニック蒲郡)

1. 在宅医療における感染症診療の原則と構造的課題

東京科学大学医学部総合診療科/介護・在宅医療連携システム開発学講座 木村琢磨

2. 在宅医療における抗菌薬適正使用(Antimicrobial Stewardship)実践

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター 藤友結実子

3. 在宅ケアにおける耐性菌対策

沖縄県立中部病院地域医療科 高山義浩

4. 在宅医療における感染症診療の最新エビデンスと今後の展望

一般社団法人 Sapporo Medical Academy, 北海道科学大学, 東京薬科大学 岸田直樹

ジョイントシンポジウム 5 5月24日(日) 9:10~10:40 第5会場(5F ホールB5-2)

(日本性感染症学会)

「梅毒診療の課題と展望」

司会：高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

和田耕一郎(鳥根大学医学部泌尿器科学講座)

1. 診断に苦慮する症例

たによんスタートクリニック 古林敬一

2. 耳鼻咽喉科における梅毒診療の現状

東京女子医科大学附属足立医療センター耳鼻咽喉科 余田敬子

3. 梅毒郵送検査の課題

札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡

ジョイントシンポジウム 6 5月24日(日) 10:45~12:15 第5会場(5F ホールB5-2)

(日本性感染症学会)

「性感染症診療の課題」

司会：高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

渡會睦子(東京医療保健大学医療保健学部)

特別発言：荒川創一(井口腎泌尿器科亀有)

1. 小児思春期と性感染症 高知大学医学部臨床感染症学講座 山岸由佳
2. 遺伝子検査の課題～*Mycoplasma genitalium* を含めて～
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 安田 満
3. 性的マイノリティと性感染症 しらかば診療所 井戸田一期
4. 妊娠期における性感染症のマネジメント 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野 相澤志保子

シンポジウム

シンポジウム 1 5月22日(金) 9:00~10:30 第1会場(4F ホールC)

「ワンヘルスの視点から考える病原微生物」

司会：國島広之(聖マリアンナ医科大学感染症学講座)

中村(内山)ふくみ(東京都立墨東病院)

1. 境界を越える MRSA—院内・市中・家畜・自然を繋ぐワンヘルスの視点—
聖マリアンナ医科大学医学部微生物学講座 山口哲央
2. 豚農場環境における *Clostridioides difficile* の分布実態の解明 酪農学園大学獣医学群獣医学類 白井 優
3. 野生動物における高病原性鳥インフルエンザ～北海道における希少猛禽類の症例を中心に～
猛禽類医学研究所 齊藤慶輔
4. 医療環境と感染症 金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学 金森 肇

シンポジウム 2 5月22日(金) 9:00~10:30 第2会場(7F ホールB7-1)

「Life Course Immunization に基づくこれからの予防接種を考える」

司会：齋藤昭彦(新潟大学大学院医歯保健学研究科)

加藤英明(横浜市立大学附属市民総合医療センター感染制御部)

1. プライマリケア医による Life Course Immunization
亀田ファミリークリニック館山家庭医診療科, 亀田ホームクリニック幕張 菅長麗依
2. 産婦人科医が担う Life-course immunization: 母子免疫と HPV ワクチン
長崎大学医学部産科婦人科 三浦清徳
3. Life course immunization としての B 型肝炎ワクチン: 母子感染予防から水平感染予防へ
日本大学医学部小児科学系小児科学分野 森岡一期
4. 労働者の Life course immunization: 多様化する労働環境における予防接種戦略
産業医科大学医学部感染症科学講座 鈴木克典
5. Life course immunization と接種控え～すべての道は vaccine hesitancy に通ず～
東京医科大学公衆衛生学分野 町田征己

シンポジウム3 5月22日(金) 9:00~10:30 第3会場(7F ホールB7-2)

「薬剤耐性菌に対する次世代の感染症治療のモダリティー」

司会：館田一博(東邦大学医学部)

青柳哲史(東北大学大学院医学系研究科感染病態学分野/総合感染症学分野)

1. 我が国におけるアカデミア感染症創薬の取り組み

藤田医科大学医学部, ピッツバーグ大学医学部 土井洋平

2. 非増殖期およびバイオフィーム形成菌に有効なメナキノン標的抗菌薬ライソシンEの特性

山形大学医学部医学科 浜本 洋

3. 細菌感染症に対する治療用ファージ製剤の開発：特定の細菌集団を狙うアプローチ

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部 氣駕恒太郎

4. 薬剤耐性菌に対する抗菌ペプチドの可能性

東北大学大学院農学研究科 米山 裕

シンポジウム4 5月22日(金) 9:00~10:30 第5会場(5F ホールB5-2)

「変貌する侵襲性真菌症」

司会：宮崎義継(国立健康危機管理研究機構)

掛屋 弘(大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学)

特別発言：亀井克彦(千葉大学真菌医学研究センター/医学部附属病院感染症内科)

1. がん患者における侵襲性真菌感染症

国立がん研究センター東病院感染症科, 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科 冲中敬二

2. 免疫不全患者の糸状真菌感染症

虎の門病院臨床感染症科・中央検査部 荒岡秀樹

3. カンジダ・アウリス

千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡邊 哲

4. 非好中球減少例における侵襲性肺アスペルギルス症の診療のポイント

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学, 長崎大学病院呼吸器内科 高園貴弘

シンポジウム5 5月22日(金) 9:00~10:30 第6会場(7F ホールD7)

「免疫不全患者の感染症診療」

司会：原田壮平(東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

大澤良介(亀田総合病院感染症内科)

特別発言：徳江 豊(群馬大学医学部附属病院感染制御部)

1. 固形腫瘍患者の感染症診療

がん研有明病院 羽山ブライアン

2. 膠原病と感染症診療の新しい理解

帝京大学ちば総合医療センター 萩野 昇

3. 感染症医のための血液疾患関連感染症診療～治療進歩と免疫不全をどう捉えるか

国家公務員共済組合連合会浜の町病院血液内科 帆足公佑

4. 固形臓器移植後患者へのアプローチ

東京科学大学統合臨床感染症学分野 岡本 耕

シンポジウム6 5月22日(金) 15:00~16:30 第2会場(7F ホールB7-1)

「ワクチン新時代～さらに進化する呼吸器感染症ワクチン～」

司会：大石和徳(富山県衛生研究所)

鈴木 基(国立健康危機管理研究機構)

1. インフルエンザワクチン

埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科 関 雅文

2. COVID-19 ワクチンの重要性とユニバーサル型コロナワクチンの開発状況

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 西順一郎

3. RSV ワクチン

杏林大学医学部臨床感染症学 倉井大輔

4. 成人における肺炎球菌ワクチン接種の考え方

琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座, 長崎大学 山本和子

シンポジウム7 5月22日(金) 16:30~18:00 第2会場(7F ホールB7-1)

「予防接種のこれからの100年—未来のワクチン開発に向けて—」

司会：中野貴司(川崎医科大学小児科学)

中村茂樹(東京医科大学微生物学分野)

1. オフターゲット効果を見据えたこれからの感染症ワクチン開発研究

東京大学医科学研究所ワクチン科学分野, 東京大学医科学研究所国際ワクチンデザインセンター,

東京大学新世代感染症センター 石井 健

2. カチオン性コレステリルプルランナノゲルを基盤とした呼吸器感染症に対する経鼻ワクチン開発

千葉大学医学部附属病院ヒト粘膜ワクチン学部門,

千葉大学未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点 中橋理佳

3. mRNA ワクチン・プラットフォームの基礎研究と他領域への応用

日本大学医学部病態病理学系微生物学分野 相澤志保子

シンポジウム8 5月22日(金) 16:30~18:00 第3会場(7F ホールB7-2)

「新規化学療法剤の開発促進に向けて」

司会：柳原克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野(臨床検査医学))

佐藤淳子(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

特別発言：平井敬二(北里大学大村智記念研究所)

1. 新規感染症治療薬の国内開発に関する現状と課題 東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科 堀野哲也

2. 新規感染症治療薬の国内開発に関する PMDA の取り組み

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安藤 剛

3. 新規感染症治療薬の国内開発における JIHS の取り組みと将来展望

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター 大曲貴夫

4. 感染症治療薬の開発における現状と課題—SHIONOGI における薬剤耐性(AMR)菌感染症治療薬および抗ウイルス薬開発の実例から—

塩野義製薬株式会社 上原健城

パネリスト：MSD 株式会社 白沢博満

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 周藤健治

シンポジウム9 5月22日(金) 16:30~18:00 第6会場(7F ホールD7)

「世界の中の日本の真菌症」

司会：宮崎泰可(宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野)

時松一成(昭和医科大学医学部内科学講座臨床感染症学部門)

1. Pitt candidemia score を用いたカンジダ血症の重症度の評価

兵庫医科大学感染制御学, 日本医真菌学会関西支部「深在性真菌症研究会」 植田貴史

2. 血液領域の侵襲性アスペルギルス症—世界の中の日本と日本版予防・診断・治療戦略の確立に向けて

自治医科大学附属さいたま医療センター血液科 木村俊一

3. 日本における慢性肺アスペルギルス症診療の現状と長期抗真菌治療の課題

福岡大学筑紫病院感染制御部呼吸器内科 申間尚子

4. 薬剤耐性真菌 日本の現状

千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡邊 哲

シンポジウム 10 5月22日(金) 16:30~18:00 第7会場(5F ホールD5)

「感染症の臨床研究・治験を推進するためのネットワークを如何に育てて活用するか」

司会：掛屋 弘（大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

高瀬明子（MSD 株式会社）

1. 感染症臨床試験エコシステムの構築に向けた ARISE の取り組み 国立健康危機管理研究機構 時田大輔
2. 感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）の活動と目指すところ 国立健康危機管理研究機構 近藤 徹
3. REMAP-CAP の活動と目指すところ 聖マリアンナ医科大学 藤谷茂樹

シンポジウム 11 5月23日(土) 8:30~10:00 第4会場(5F ホールB5-1)

「日本版 ASP 実施状況の可視化と評価体系の構築—実運用1年の経験から」

司会：川口辰哉（熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科）

村木優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

特別発言：村上啓雄（ぎふ総合健診センター）

1. 改定後の『ASP 実践のためのガイドランス』について再考する
近畿大学病院安全管理センター感染対策部 吉田耕一郎
2. 中小規模病院における ASP~実施状況の可視化と運用の実際（制約下での運用と問題）~
新潟県立新発田病院 田邊嘉也
3. 抗菌薬適正使用評価指標の妥当性：量+質へのイノベーション
昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部 前田真之
4. 市中病院 AST の可視化情報を活用した ASP 活動~院内から近隣地域まで~
公立陶生病院薬剤部 梅村拓巳

シンポジウム 12 5月23日(土) 8:30~10:00 第5会場(5F ホールB5-2)

「基礎研究から考える肺炎球菌感染症：新規予防・治療の展開」

司会：保富宗城（和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科）

山本和子（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

1. 肺炎球菌ワクチンの細菌学的・免疫学的基礎研究 東京慈恵会医科大学細菌学講座 金城雄樹
2. 侵襲性肺炎球菌感染症の発症機序と感覚神経を介した侵襲化制御機構
和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 河野正充
3. 侵襲性肺炎球菌感染症に対する新規治療標的の分子基盤
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所細菌第一部 小川道永
4. 呼吸器ウイルス共感染による細菌感染症の重症化機序~インフルエンザと肺炎球菌を中心に~
東京医科大学微生物学分野 中村茂樹

シンポジウム 13 5月23日(土) 8:30~10:00 第6会場(7F ホールD7)

「ポスト・パンデミック時代の感染症コミュニケーション」

司会：具 芳明（東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野）

上原由紀（順天堂大学院医学研究科臨床病態検査医学）

1. 地方自治と感染症コミュニケーション 沖縄県立中部病院地域医療科 高山義浩
2. 感染症コミュニケーションにおけるメディアの役割：インフォデミック時代の情報受容の歪みにどう向き合うか
武蔵大学 市川 衛
3. 感染症対策とメディアコミュニケーション. 経験・コツ・ちょっぴりデータ紹介
東京大学新世代感染症センター 古瀬祐気
4. 感染症危機に備えるためのリスクコミュニケーション
大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 中島一敏

シンポジウム 14 5月23日(土) 8:30~10:00 第7会場(5F ホールD5)

「SSI対策をもっと知ろう」

司会：小林美奈子(三重大学大学院医学系研究科先端の外科学技術開発学)

畑 啓昭(京都医療センター外科・感染制御部)

特別発言：草地信也(医療法人社団東邦鎌谷病院外科)

1. SSIサーベイランスの意義 山形大学医学部附属病院検査部 森兼啓太
2. SSI対策チームの組織横断的活動と新規エビデンスの創出 慶應義塾大学外科 尾原秀明
3. 頭頸部癌手術における周術期感染症 和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科 玉川俊次
4. 麻酔科で支える周術期 SSI 予防対策～多職種連携によるプレハビリテーションと腸内環境管理の意義～
藤田医科大学医学部麻酔・集中治療医学講座 山下千鶴

シンポジウム 15 5月23日(土) 10:10~11:40 第2会場(7F ホールB7-1)

「AIを感染症診療でどう活かすか？」

司会：金森 肇(金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学)

山元 佳(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター)

1. 感染症検査における AI 利用のステートメント
大阪公立大学大学院医学研究科細菌学, 大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター,
大阪公立大学大阪国際感染症研究センター 金子幸弘
2. 医療と AI—国内外の近況と応用事例
筑波大学医学医療系デジタルヘルス分野, アイリス株式会社 沖山 翔
3. AI グラム染色は感染症診療をどう変えるか—迅速診断と適正治療への応用
大阪大学大学院医学系研究科変革の感染制御システム開発学寄附講座,
大阪大学医学部附属病院感染制御部 山本 剛
4. AI を感染症診療でどう活かすか? コネクト合同会社, 健和会大手町病院 山口征啓

シンポジウム 16 5月23日(土) 10:10~11:40 第4会場(5F ホールB5-1)

「抗菌薬適正使用および AST 活動を的確に評価するために」

司会：貫井陽子(京都府立医科大学感染制御・検査医学教室)

高橋佳子(兵庫医科大学病院薬剤部)

特別発言：尾内一信(川崎医科大学附属病院, 川崎医療福祉大学医療保育学科)

1. リアルワールドデータを活用した抗菌薬適正使用に向けたエビデンスの創出
山口大学医学部附属病院薬剤部 岡田直人
2. プロセス指標の時系列分析による評価
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター薬剤科 村上修太郎
3. 抗菌薬 De-escalation をどう測るか：スペクトラム定量化と複合評価を考える
長崎大学病院総合感染症科感染制御教育センター 柿内聡志
4. 予測式を用いた広域抗菌薬の使用量の評価—抗菌薬の使い分け指標の AHI とリスク調整した予測使用量の SAAR について—
兵庫医科大学感染制御学, 兵庫医科大学病院感染制御部 植田貴史

シンポジウム 17 5月23日(土) 10:10~11:40 第5会場(5F ホールB5-2)

「急性呼吸器感染症の up to date」

司会：矢寺和博(産業医科大学医学部呼吸器内科学講座)

飯沼由嗣(金沢医科大学)

特別発言：二木芳人(昭和医科大学内科学講座)

1. ARI サーベイランス：医療 DX とゲノム解析を融合した感染症対策への期待
岡山大学学術研究院医歯薬学域感染症学分野 萩谷英大

2. 急性呼吸器感染症診断における微生物検査の活用

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野, 長崎大学病院臨床検査科 賀来敬仁

3. COVID-19 up to date (後遺症を含めて)

三重大学医学部附属病院感染制御部 田辺正樹

4. インフルエンザウイルス感染症の up to date

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 進藤有一郎

5. 新型コロナ, インフルエンザ以外の呼吸器ウイルス感染症

琉球大学大学院医学研究科微生物学講座 金城武士

シンポジウム 18 5月23日(土) 10:10~11:40 第7会場 (5F ホールD5)

「外科領域感染症」

司会: 石川清仁 (藤田医科大学ばんだね病院安全管理部感染対策室)

佐々木淳一 (慶應義塾大学医学部救急医学)

1. 大腸手術における周術期感染症対策

国立病院機構京都医療センター外科・感染制御部 畑 啓昭

2. 目があららこんなことに

戸田眼科皮膚科/広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 戸田良太郎

3. 泌尿器科領域における周術期感染症の現状と対策

広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 北野弘之

4. 脳神経外科領域における感染症—脳膿瘍・術後髄膜炎・シャント感染・脊椎硬膜外膿瘍を中心に—

東邦大学医療センター大橋病院院内感染対策室/臨床検査部/脳神経外科,

東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部, 東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科 中山晴雄

シンポジウム 19 5月23日(土) 14:00~15:30 第1会場 (4F ホールC)

「抗菌薬適正使用を徹底討論! ~国内医療施設における DASC を含む対策~」

司会: 浜田幸宏 (高知大学医学部附属病院薬剤部)

前田真之 (昭和医科大学薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門)

特別発言: 千酌浩樹 (鳥取県立中央病院)

1. DASC を用いた広域抗菌薬・耐性菌治療薬の長期使用ラウンドの評価

愛知医科大学病院薬剤部 柴田祐一

2. 多診療科・多職種連携が必要な集中治療領域における抗菌薬適正使用支援活動

鹿児島大学病院薬剤部, 鹿児島大学病院感染制御部 茂見茜里

3. 高齢者医療施設における抗菌薬適正使用の実践

順天堂大学薬学部臨床薬学教育センター 笹野 央

4. 急性期病院群における DASC の活用方法

自治医科大学感染症学部門・総合診療部門 神田直樹

シンポジウム 20 5月23日(土) 14:00~15:30 第2会場 (7F ホールB7-1)

「カルバペネマーゼ産生菌用薬の現状と今後の展望」

司会: 山野佳則 (塩野義製薬創薬疾患研究所)

小泉祐介 (和歌山県立医科大学臨床感染制御学講座)

1. カルバペネム耐性グラム陰性菌に対して抗菌活性を有するシデロフォアセファロスポリン薬セフィデロコ
ルの特徴

塩野義製薬創薬疾患研究所 山野佳則

2. 新規 β -ラクタマーゼ阻害剤ナキュバクタムについて

Meiji Seika ファルマ株式会社 岡出隼人

3. Ceftazidime-Avibactam: Bridging Mechanistic Innovation and Clinical Reality in Multidrug-Resistant
Gram-Negative Infections

International Medical Affairs, Pfizer. Levent Mert Gunay

4. 新規 β -ラクタマーゼ阻害薬開発の現在地

藤田医科大学医学部, ピッツバーグ大学医学部 土井洋平

シンポジウム 21 5月23日(土) 14:00~15:30 第5会場 (5F ホール B5-2)

「感染症診療 100年の歴史」

司会：大毛宏喜（広島大学感染症科）

柳原克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学））

1. 感染症学 100年の歴史 横浜市立市民病院感染症内科 長谷川直樹
2. 感染症化学療法（100年）の歴史 札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡
3. 感染制御 100年間の歴史 国立健康危機管理研究機構 四柳 宏
4. 臨床微生物検査（100年）の歴史 国際医療福祉大学医学部感染症学講座 松本哲哉

シンポジウム 22 5月23日(土) 14:00~15:30 第6会場 (7F ホール D7)

「次の100年を開拓し担う薬学研究者たち—学部学生・大学院生シンポジウム—」

司会：中南秀将（東京薬科大学・薬学部・臨床微生物学教室）

辻 泰弘（日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室）

1. β -ラクタム系薬 2 剤併用は、*Mycobacterium avium* に対して *in vitro* において有効である
慶應義塾大学大学院薬学研究科薬効解析学講座 吉川万衣子
2. MRSA の網羅的ゲノム解析 東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室 大関壮実
3. 抗菌薬適正使用の推進に向けたリアルワールドデータ（RWD）の活用
京都府立医科大学附属病院薬剤部，京都薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻臨床薬剤疫学分野 青戸和宏
4. 炎症性腸疾患を背景にもつ *Clostridioides difficile* 感染症に対する最適治療法の提案
慶應義塾大学大学院薬学研究科薬効解析学講座 三原貴之
5. 血漿タンパク結合率に基づく抗菌化学療法の発展に向けて
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室 山田知奈

シンポジウム 23 5月23日(土) 14:00~15:30 第7会場 (5F ホール D5)

「非定型病原体 up to date」

司会：館田一博（東邦大学医学部）

迎 寛（長崎みなとメディカルセンター）

1. 非定型病原体感染症の現状 関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科 宮下修行
2. 肺炎における非定型病原体診断の意義と方法～マイコプラズマとレジオネラを中心に～
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科 伊藤明広
3. 非定型病原体の治療 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作
4. 非定型病原体の院内感染対策 東京医科大学病院感染制御部 中村 造

シンポジウム 24 5月23日(土) 14:00~15:30 第9会場 (7F G701)

「Diagnostic Excellence (DxEx) について」

司会：笠原 敬（奈良県立医科大学感染症内科学講座）

本田 仁（藤田医科大学微生物学講座・感染症科）

1. Medicine is a science of uncertainty and an art of probability.— “診断” しない診断学入門—
大阪大学大学院医学系研究科変革的ヒト検体解析学（日本財団）寄附講座，
大阪大学感染症総合教育研究拠点人材育成部門検体解析人材チーム，
大阪大学医学部附属病院感染症内科，公益財団法人天理よろづ相談所病院総合診療教育部 佐田竜一
2. Diagnostic Excellence を支える感染症診断における看護師の役割
国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 坂木晴世
3. Antimicrobial stewardship 佐賀大学医学部附属病院感染制御部 浦上宗治
4. Diagnostic stewardship (DS) の実践と課題 九州大学病院検査部 清祐麻紀子

シンポジウム 25 5月23日(土) 15:40~17:10 第5会場(5F ホールB5-2)

「歴代理事長に聞く感染症・化学療法の未来」

司会：高橋 聡(札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

1. 感染症・化学療法の未来 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 舘田一博
2. 日本の結核 過去・現在・未来 公益財団法人宮城県結核予防会 渡辺 彰
3. 小児感染症の未来予想図 東京医科大学微生物学分野, 熊本大学生命科学研究部 岩田 敏
4. 尿路・性器感染症 井口腎泌尿器科・内科新小岩 清田 浩

シンポジウム 26 5月23日(土) 15:40~17:10 第7会場(5F ホールD5)

「ほろ酔い気分で Pros&Cons を楽しもう~抗 MRSA 薬の使い方~」

司会：光武耕太郎(埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科)

北原隆志(山口大学医学部附属病院)

1. バンコマイシンには有効性・安全性を担保できる TDM がある！
慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座 松元一明
2. MRSA 感染症の治療にはまずバンコマイシンの選択を考慮すべきである
兵庫医科大学感染制御学 中嶋一彦
3. いえいえ、バンコマイシンには頼らない派~薬剤師の立場から~
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室 辻 泰弘
4. いえいえ、バンコマイシンには頼らない派~臨床医の立場から~ 富山大学附属病院感染症科 山本善裕

シンポジウム 27 5月23日(土) 15:40~17:10 第9会場(7F G701)

「AMR 対策に必要な微生物学的検査および疫学解析」

司会：三嶋廣繁(愛知医科大学・朝日大学病院感染症内科)

中村 敦(名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学)

1. MRSA
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野, 長崎大学病院臨床検査科/検査部 加勢田富士子
2. カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌(CPE)への対応: 分子疫学解析と検出検査
京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 松村康史
3. ブドウ糖非発酵菌の AMR 対策に必要な微生物学的検査および疫学解析 朝日大学歯学部 坂梨大輔
4. AMR 対策につながる微生物の網羅的解析
秋田大学医学部附属病院感染制御部,
秋田大学医学系研究科附属感染制御総合センター感染統括制御部門 嵯峨知生

シンポジウム 28 5月24日(日) 9:10~10:40 第3会場(7F ホールB7-2)

「医獣医連携で AMR 対策を考える」

司会：菅井基行(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所薬剤耐性研究センター)

田村 豊(酪農学園大学)

1. 薬剤耐性感染症伝播における伴侶動物の重要性 大阪公立大学大学院獣医学研究科 安木真世
2. 多剤耐性化が進む豚病原性大腸菌に有効な抗菌剤 農研機構動物衛生研究部門 楠本正博
3. 医療における AMR 対策の現状と課題
東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野 具 芳明
4. 感染症危機対応の強靱化に向けた AMR 対策と研究開発戦略の統合
厚生労働省感染症対策部感染症対策課 久保亮太郎

シンポジウム 29 5月24日(日) 9:10~10:40 第6会場(7F ホールD7)

「レンサ球菌感染症の新機軸：常在菌の視点から病原性を再考する」

司会：新庄正宜（防衛医科大学校病院医療安全・感染対策部）

大石智洋（川崎医科大学臨床感染症学）

1. ありふれた感染と劇症のあいだ：A群レンサ球菌感染症の二面性を読み解く
京都大学大学院医学研究科微生物感染症学分野 中川一路
2. B群溶血性レンサ球菌の常在性と侵襲性の連続性を再考する
東京都立小児総合医療センター検査科感染症科免疫科,
東京都立小児総合医療センター小児感染症センター 芝田明和
3. *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis* の細菌学的性状と病原性
大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学講座 岡本成史
4. 口腔レンサ球菌と全身疾患との関わり
日本大学歯学部感染症免疫学 神尾宜昌
日本大学歯学部感染症免疫学 今井健一

シンポジウム 30 5月24日(日) 10:45~12:15 第2会場(7F ホールB7-1)

「地球温暖化がもたらす感染症の危機」

司会：岩崎博道（福井県丹南健康福祉センター）

下野信行（九州大学病院総合診療科）

特別発言：今村顕史（がん・感染症センター都立駒込病院）

1. 地球温暖化に伴う寒冷地感染症の疫学的変容—北海道の事例とともに—
札幌医科大学医学部感染学講座感染症学分野 黒沼幸治
2. 温暖化における節足動物媒介感染症の動向変化
ビー・エム・エル総合研究所 高崎智彦
3. 気候変動における蚊媒介感染症の話題
長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野, 長崎大学病院総合感染症科 田中健之
4. 気候変動によるダニ媒介性感染症への影響
大阪大学大学院医学系研究科感染制御学 忽那賢志

シンポジウム 31 5月24日(日) 10:45~12:15 第3会場(7F ホールB7-2)

「Polymicrobial Interactions and Pathogenesis：多様な微生物が織りなす感染症の病態生理」

司会：館田一博（東邦大学医学部）

竹村 弘（聖マリアンナ医科大学微生物学教室）

特別発言：神谷 茂（杏林大学名誉教授）

1. 粘膜における微生物間相互作用が規定する肺炎球菌感染症の免疫学的制御と重症化機序
東京医科大学微生物学分野 中村茂樹
2. 観ないとわからない緑膿菌, レンサ球菌の耐性化機構
筑波大学生命環境系, 微生物サステナビリティ研究センター, 高等研究院, TARA 野村暢彦
3. 腸内細菌とウイルス
東京大学医科学研究所感染症国際研究センターウイルス学分野 一戸猛志
4. 腸内細菌・真菌叢の相互作用：カンジダ属定着・播種に焦点を当てて
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所真菌部 阿部雅広

シンポジウム 32 5月24日(日) 10:45~12:15 第4会場(5F ホールB5-1)

「感染症に携わる医療人の育成」

司会：長岡健太郎（富山大学附属病院感染症科）

古本朗嗣（長崎大学病院総合感染症科・感染症医療人育成センター）

特別発言：高田 徹（福岡大学病院感染制御部/福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科）

1. 地方における感染症専門医の育成 鹿児島大学での取り組みと課題
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感染症専門医養成講座 川村英樹

2. 研修医教育における感染症診療への興味喚起—Pay it forward—
佐賀大学医学部附属病院感染制御部 的野多加志
3. 感染症専門医のキャリアパス～感染症専門医が経営する診療所・クリニック～
医療法人社団 OURS KARADA 内科クリニック 佐藤昭裕
4. 世界を舞台に戦いたい感染症専門医へ：キャリアを切り拓く3つの鍵
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター 石金正裕
5. 感染症診療と臨床研究をアフリカ・ケニアで歩む—Physician scientist のキャリアパス—
長崎大学熱帯医学研究所アジア・アフリカ感染症研究施設ケニアプロジェクト拠点 彦根麻由

シンポジウム 33 5月24日(日) 10:45~12:15 第6会場(7F ホールD7)

「新興感染症クライシスへの備え」

司会：四柳 宏 (国立健康危機管理研究機構)

賀来満夫 (聖マリアンナ医科大学)

1. 国立健康危機管理研究機構 JIHS の紹介 国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局 武井貞治
2. 感染症危機における型 FF100 調査：臨床・疫学・検査の統合による迅速なエビデンス創出
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター 大曲貴夫
3. 新興感染症クライシスにおける特定感染症指定医療機関の役割 りんくう総合医療センター 倭 正也
4. 1種感染症病床と BSL4 を有する施設から
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野 泉川公一

シンポジウム 34 5月24日(日) 13:30~15:00 第2会場(7F ホールB7-1)

「消化管感染症の気になる話題」

司会：大西健児 (鈴鹿医療科学大学保健衛生学部救急救命学科)

森永芳智 (富山大学学術研究部医学系微生物学講座)

特別発言：加藤はる (国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所)

1. 腸内細菌叢の制御による次世代治療 慶應義塾大学医学部小児科 古市宗弘
2. 腸管出血性大腸菌感染症に対する抗菌薬使用について 川崎医科大学臨床感染症学教室 大石智洋
3. 2025年ロタウイルス胃腸炎の再流行～COVID-19流行、定期接種化から5年～
札幌医科大学医学部小児科学講座 津川 毅
4. *Clostridioides difficile* infection の最新知見：gut-brain axis, gut-muscle axis, そして One Health の視点から
聖マリアンナ医科大学感染症学 高野知憲

シンポジウム 35 5月24日(日) 13:30~15:00 第3会場(7F ホールB7-2)

「次世代の感染症危機管理体制を目指して—産官学連携が拓く感染症イノベーション—」

司会：竹末芳生 (知多半島総合医療機構りんくう病院, 兵庫医科大学)

迎 寛 (長崎みなとメディカルセンター)

1. 岩本愛吉先生, 河野 茂先生および3学会の先生方と進めた感染症対策について
参議院議員 (福岡県選出) 秋野公造
2. 感染症に対する平時からの備えと産官学連携の重要性 塩野義製薬株式会社 手代木功
3. 感染症危機管理体制の構築に向けて—産官学連携による MCM エコシステムの構築に向けた行政の取組を中心—
厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課 木庭 愛
4. 感染症危機管理を支える抗菌薬・ワクチンの持続可能なバリューチェーン構築
Meiji Seika ファルマ株式会社 小林大吉郎

シンポジウム 36 5月24日(日) 13:30~15:00 第5会場 (5F ホール B5-2)

「次の100年の感染症危機に備える—JIHSが挑むレジリエンスの構築」

司会：大曲貴夫（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター）

武井貞治（国立健康危機管理研究機構）

1. 感染症危機に備える臨床研究基盤の構築：感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）の役割と展望
国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局企画調整部政策研究課研究開発連携室 金原健人
2. 感染症危機に備えたレジリエンスのための取り組み
国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局感染症危機管理部、
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所感染症危機管理研究センター 齋藤智也
3. 国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際感染症危機管理対応推進センターの活動と展望
国立健康危機管理研究機構国際感染症センター 氏家無限
4. 感染症危機管理リーダーシップ研修（IDCL）における研修プログラムの構築と実践研修の展開
国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局企画調整部政策研究課研究開発連携室 福田哲也
5. 感染症危機に挑む多機関連動型 FF100 調査：緊密な連携による臨床・疫学・検査の統合とレジリエンスの構築
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター国際感染症センター 石金正裕

シンポジウム 37 5月24日(日) 13:30~15:00 第7会場 (5F ホール D5)

「HIV 感染症一性感染症を含めた予防戦略と HIV 治療の進歩—」

司会：照屋勝治（国立国際医療センター）

古賀道子（東京大学新世代感染症センター）

特別発言：高田 昇（元・広島大学病院輸血部）

1. HIV 診療における持続性注射剤の役割 東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科 保科斉生
2. 抗 HIV 治療における、経口 2 剤レジメンの現状と今後の展望
大阪市立総合医療センター感染症内科 白野倫徳
3. 日本の HIV-PrEP の現状と課題 国立健康危機管理研究機構 水島大輔
4. ドキシサイクリンによる性感染症の世界的動向と日本における課題
千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科 谷口俊文

パネルディスカッション

パネルディスカッション 1 5月22日(金) 9:00~10:30 第4会場 (5F ホール B5-1)

「インバウンド回復に伴う感染症診療および渡航外来」

司会：堀野哲也（東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科）

春木宏介（獨協医科大学埼玉医療センター）

1. 変わりゆく海外渡航外来の風景 久留米大学感染制御学講座 後藤憲志
2. 環境・社会変化を背景とした輸入感染症の最新動向と医療従事者の役割
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 氏家無限
3. LMICs の感染症実態を踏まえた国際感染症診療：診断と治療
長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野、長崎大学病院総合感染症科 田中健之
4. インバウンド回復に伴う輸入感染症リスクへの当院のトリアージ体制
大阪公立大学医学部附属病院感染制御部 岡田恵代

パネルディスカッション 2 5月22日(金) 9:00~10:30 第7会場(5F ホールD5)

(日本感染症教育研究会(IDATEN))

「学生や研修医にどのように感染症学の楽しさを“届ける”か？」

司会：矢野晴美(国際医療福祉大学医学部国際医療者教育学)

篠原 浩(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学)

特別発言：矢野邦夫(浜松医療センター)

1. VUCA時代の感染症教育と「知の種まき」：不確実性を楽しむ感性を次世代へ届けるためのSNS投資
奈良県立医科大学感染症内科学講座 笠原 敬
 2. SNSを通じた感染症の情報発信
大阪大学大学院医学系研究科感染制御学 忽那賢志
 3. 学びの楽しさを後進に伝える一書籍やSNSでの発信を通して—
京都大学消化管外科 山本健人
- パネリスト：株式会社麻生飯塚病院 上杉優佳
東京科学大学医学部医学科 黒木絵莉

パネルディスカッション 3 5月24日(日) 9:10~10:40 第1会場(4F ホールC)

「ファージ治療の最前線」

司会：松本哲哉(国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

岩野英知(酪農学園大学獣医学群獣医学類獣医生化学ユニット)

1. 薬剤耐性菌制御に向けた進化型ファージ療法の開発と社会実装への展望：臨床実証からプロセス認証の提案まで
酪農学園大学獣医学類獣医生化学ユニット 岩野英知
2. 臨床応用を見据えたファージ創薬の展開
自治医科大学医学部細菌学部門 崔 龍洙
3. 個別ファージ療法の社会実装に向けた基盤整備
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部 氣駕恒太郎
4. ファージ製剤の規制動向と品質制御
慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室 塩田 淳

パネルディスカッション 4 5月24日(日) 10:45~12:15 第1会場(4F ホールC)

「感染症診療を支える微生物検査 「過去」「いま」「未来」を考える」

司会：長尾美紀(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学)

大塚喜人(亀田総合病院臨床検査部)

1. 微生物検査技師からみる微生物検査の現状と課題
東邦大学医療センター大森病院臨床検査部 佐々木雅一
2. 医師からみる微生物検査の有用性と課題解決のための新たな検査法の開発
富山大学医学部臨床分子病態検査学講座 仁井見英樹
3. 最先端だけでよいのか—標準化と個別化の両立が拓く微生物検査室の未来—
杏林大学保健学部臨床検査技術学科 米谷正太
4. 今後期待される臨床検査
筑波大学附属病院感染症内科 鈴木広道

パネルディスカッション 5 5月24日(日) 13:30~15:00 第6会場(7F ホールD7)

「グラム陰性薬剤耐性菌治療ガイドランスを臨床にどう活かすか」

司会：川村英樹(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感染症専門医養成講座)

宮良高維(神戸大学医学部附属病院感染制御部)

1. ESBL産生菌による腹腔内感染症
国立病院機構京都医療センター外科・感染制御部 畑 啓昭
2. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)
名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部 岡 圭輔
3. 彼を知り己を知る：ガイドランスで挑むブドウ糖非発酵菌診療
大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学, 大阪公立大学医学部附属病院感染症内科,
大阪公立大学医学部附属病院感染制御部, 大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター,
大阪公立大学大阪国際感染症研究センター 井本和紀

4. グラム陰性薬剤耐性菌治療ガイドランスにおけるバクテロイデス属について

日本医科大学千葉北総病院 平井 潤

5. グラム陰性薬剤耐性菌治療における新規抗菌薬の位置づけ

山口大学医学部附属病院薬剤部 岡田直人

専門医審議会企画シンポジウム

5月22日（金）16：30～18：00 第5会場（5F ホールB5-2）

（日本感染症学会）

「感染症専門医育成の現状と課題」

司会：四柳 宏（国立健康危機管理研究機構）

具 芳明（東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野）

1. 感染症専門医の目指す医師像，新専門医制度への対応と今後の見通し

国立健康危機管理研究機構 四柳 宏

2. 医育機関における感染症専門医の役割

東北大学大学院医学系研究科感染病態学分野，東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野 青柳哲史

3. 市中病院における外科系感染症専門医の役割と期待

国立病院機構京都医療センター外科，国立病院機構京都医療センター感染制御部 畑 啓昭

4. 感染症専門医認定試験の実際

防衛医科大学校病院医療安全・感染対策部 新庄正宜

5. 感染症専門医育成を目指した活動

東京科学大学大学院医歯学総合研究科統合臨床感染症学分野 具 芳明

男女共同参画推進委員会企画

5月24日（日）10：50～11：50 第9会場（7F G701）

（日本感染症学会）

「多様性と感染症学～これまでの100年とこれから～」

司会：山本和子（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

上原由紀（順天堂大学医学部臨床検査医学科/総合診療科/微生物学）

1. 日本感染症学会における男女共同参画支援のあゆみ

市立大町総合病院 駒瀬裕子

2. みえる多様性とみえない多様性と男と女

東京医科大学八王子医療センター感染症科，東京女子医科大学感染症科非常勤講師，

東京都立多摩北部医療センター内科 ICT 平井由児

日本化学療法学会 創立70周年記念研究支援プログラム研究成果報告会

5月22日（金）15：00～16：30 第3会場（7F ホールB7-2）

司会：高橋 聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

1. Host-pathogen Interaction を考慮した *Stenotrophomonas maltophilia* 感染症の治療法開発

大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学，大阪公立大学医学部附属病院感染症内科，

大阪公立大学医学部附属病院感染制御部，大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター，

大阪公立大学大阪国際感染症研究センター 井本和紀

2. 酪酸産生菌によるウイルス性呼吸器感染症に伴う二次性細菌性肺炎への抵抗性の向上を目的とした臨床的・基礎的研究

三重大学医学部附属病院薬剤部，三重大学大学院医学系研究科臨床薬理学，

愛知医科大学病院感染症科 加藤秀雄

3. 下部消化管手術患者におけるメロペネム持続投与の血漿および組織中薬物動態力学的研究
広島大学病院感染症科, 広島大学大学院医系科学研究科外科学 北川浩樹
4. セフメタゾールの蛋白結合を考慮した基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ産生腸内細菌目細菌に対する最適な投与設計の検討
慶應義塾大学大学院薬学研究科医療薬学部門, 東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤室 並木孝哉
5. 肺 *Mycobacterium abscessus* complex 症に対する新規治療法構築を目指した基礎的検討
岡山大学病院薬剤部 三澤可奈
6. 細菌との新たな共存関係の構築に向けた薬剤排出ポンプ阻害剤の開発
大阪大学産業科学研究所, 大阪大学大学院薬学研究科, 大阪大学感染症総合教育研究拠点 山崎聖司

ワークショップ

ワークショップ1 5月24日(日) 9:45~10:45 第9会場(7F G701)

「泌尿器系材料の検査・感染症の標準化を考える—本当に感染症診療に役立つオーダー, 検査, 診断とは—」

司会: 宮本仁志 (愛媛大学医学部附属病院検査部)

上原由紀 (順天堂大学院医学研究科臨床病態検査医学)

1. 微生物検査における標準化への取り組み 九州大学病院検査部 清祐麻紀子
2. 検査前プロセス: 医師のオーダー, 検体採取の課題と標準化に与える影響
虎の門病院臨床感染症科・中央検査部 荒岡秀樹
3. 検査プロセス・キーポイントは“臨床に役立つ”プロトコルの標準化推進
医療法人鉄蕉会亀田総合病院 渡 智久
4. 検査後プロセス (検査結果をふまえた医師の視点と診療への活かし方)
横浜市立みなと赤十字病院感染症科・TQM部 渋江 寧

ワークショップ2 5月24日(日) 13:30~15:00 第4会場(5F ホールB5-1)

「AI時代における科学論文の適正な査読とは」

司会: 泉川公一 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学)

荒岡秀樹 (虎の門病院臨床感染症科・中央検査部)

1. AI in the Publishing Community エルゼビア・ジャパン株式会社 STM ジャーナル 竹田政子
2. 科学論文査読という公共財—実践と責務— 国際医療福祉大学医学部感染症学 田沼順子
3. 査読の実際 ベストレビュワー賞受賞の立場から
長崎大学医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野 岩永直樹

日本感染症学会 100周年記念講演会

日本感染症学会 100周年記念講演会 5月22日(金) 15:10~16:40 式典会場(ホールA)

司会: 館田一博 (一般社団法人日本感染症学会元理事長/東邦大学医学部)

入澤達吉の生涯

東京医科大学病院皮膚科 入澤亮吉

タテ社会の感染症対策: 医薬品・ワクチン開発そして学会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 AMED 岩本愛吉

薬剤耐性 (AMR) 治療ガイドンス作成委員会

5月23日(土) 15:40~17:10 第1会場(4F ホールC)

(日本化学療法学会・日本感染症学会)

「薬剤耐性 (AMR) 治療ガイドンス」

司会: 重村克巳 (倉敷成人病センター泌尿器科)

柳原克紀 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 (臨床検査医学))

- AmpC β -ラクタマーゼ産生腸内細菌目細菌に対する治療
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野, 長崎大学病院臨床検査科 賀来敬仁
- ブドウ糖非発酵菌
大阪公立大学大学院医学研究科細菌学, 大阪公立大学大学院医学研究科感染症科学研究センター,
大阪公立大学大阪国際感染症研究センター 金子幸弘
- 薬剤耐性 (AMR) 治療ガイドンス: BLNAR・BLPACR
和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科 保富宗城
- ESBL 産生菌
大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作

第8回臨床研究促進助成中間報告

5月24日(日) 9:10~9:40 第9会場(7F G701)

(日本感染症学会臨床研究促進委員会)

司会: 館田一博 (東邦大学微生物・感染症学講座)

「ヤヌスキナーゼ阻害剤によるヘルペスウイルス再活性化の病態解明」

宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 木村賢俊

感染症検査 AI 委員会企画

5月23日(土) 8:30~10:00 第2会場(7F ホールB7-1)

(日本感染症学会)

「感染症領域における AI 活用の現在地: 生成 AI から臨床意思決定支援まで」

司会: 前田卓哉 (埼玉医科大学病院臨床検査医学 (中央検査部))

南宮 湖 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)

- 臨床微生物検査における AI 活用の現在地
慶應義塾大学医学部臨床検査医学 上叢義典
 - AI と感染症検出—危機対応医薬品等 (MCM) への技術応用可能性について
筑波大学医学医療系デジタルヘルス分野, アイリス株式会社 沖山 翔
 - 感染症検査における生成 AI の可能性と臨床意思決定支援
金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学 金森 肇
-

プロバイオティクス製剤適正使用検討委員会

5月22日(金) 9:00~10:30 第9会場(7F G701)

(日本化学療法学会)

「プロバイオティクス製剤：適正使用のための製剤学的知見と臨床の現在」

司会：山岸由佳（高知大学医学部臨床感染症学講座）

森永芳智（富山大学学術研究部医学系微生物学講座）

1. 国内外の製剤の違いに係る知見

三重大学医学部附属病院薬剤部, 三重大学大学院医学系研究科臨床薬剤学 加藤秀雄

2. 体内動態に係る知見

山口大学医学部附属病院 北原隆志

3. 内科領域でのプロバイオティクス製剤の国内での位置づけ

富山大学学術研究部医学系微生物学講座 森永芳智

4. プロバイオティクス製剤：適正使用のための製剤学的知見と臨床の現在—産婦人科領域での知見—

学校法人朝日大学病院感染症内科 三鴨廣繁

外来抗菌薬適正使用調査委員会

5月24日(日) 11:30~12:00 第8会場(4F G409)

(日本化学療法学会・日本感染症学会)

司会：大曲貴夫（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター AMR 臨床リ

ファレンスセンター）

「第4回診療所医師を対象とした抗菌薬適正使用に関する意識についてのアンケート調査結果」

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター 藤友結実子

Accepted paper セッション

5月23日(土) 10:10~11:40 第6会場(7F ホールD7)

(日本感染症学会臨床研究促進委員会)

「あなたの日常診療を科学にしよう Accepted paper セッション—臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する—」

司会：館田一博（東邦大学微生物・感染症学講座）

三鴨廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学講座）

1. 市中病院でも英語論文を書こう

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部 森岡 悠

2. こんなネタでも RCT

大阪赤十字病院 八幡兼成

3. 日常診療を科学に変えるステップアップ戦略—症例報告から大規模データ研究, そして次世代のメンターへ—

江戸川病院, 聖路加国際病院感染症科, 国際医療福祉大学医学研究科,

東京医科大学微生物学分野 石川和宏

4. Target trial emulation による高齢者市中肺炎の初期抗菌薬選択の検証—質の高い観察研究を行うためのフレームワーク—

大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学,

大阪大学感染症総合教育研究拠点 (CiDER) 人材育成部門感染制御人材チーム,

大阪大学医学部附属病院感染制御部 山本舜悟

5. Physician-Scientist を目指して～診療経験を Science につなげるために～

京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 篠原 浩
